

(別紙3)

文起第750号 - 1  
令和2年8月27日

(施設名) 米子市文化ホール  
(指定管理者) 一般財団法人 米子市文化財団  
(代表者名) 理事長 杉原 弘一郎 様

米子市長 伊木 隆司 ㊟

### 令和元年度「米子市文化ホール」指定管理者業務評価書

施設名	米子市文化ホール
施設所管課	経済部文化観光局文化振興課
指定管理者名	一般財団法人 米子市文化財団
指定期間	平成28年4月1日 ~ 令和3年3月31日(4年目)

#### 【モニタリング終了後の総評】

##### 【施設所管課】

様々な広報活動により情報発信を行い事業周知に努め、年度終盤にコロナウイルス感染拡大の影響があったが、年間をとおして、事業を順調に開催していることは評価できる。特に米子市音楽祭、ダンスフェスは多くの市民が参加する恒例のイベントとなっている。小学校6年生を対象に劇団ミュージカル「はだかの王様」を上演したことにより、米子市の児童が上質な文化に触れる機会を作るなど、地域文化の向上に努めている点も評価できる。また、年々老朽化していく施設、設備の巡回点検を強化し、不具合に迅速に対処するなど、利用者の安全のための施設管理に対する取組も評価できる。

##### 【第三者評価】

###### ① 施設について

- 利用促進のための環境整備等、適切に行われていると感じます。
- 建物部分及び備品等、経年劣化は付きものであるが、細やかに対処・改善を進めていることがうかがえる。老朽化してきた施設や設備の不具合への迅速な対応や周辺施設や歩道等のゴミ拾い、除草・剪定なども引き続き実施されている。
- 施設の老朽化はやむを得ないことであるが、巡回点検を強化し、職員が自前で修繕を行うなど、不具合に迅速に対処する取り組みは評価できる。
- 屋根のあるオープンスペースや多目的広場は、他の施設との違いや特徴を活かしたイベントに活用できている。

###### ② 管理について

- コロナウイルス対策等、利用者サービスについて、適切に行われていると感じます。
- 今年度も寄贈された花苗を学生さんたちと一緒に、多目的広場のプランターへ植栽する事業が引き続き実施されており、外部団体との連携の一環に感慨深いものを感じた。今後も細やかな点検・対処を進めていってほしいと願っている。

○受付案内係の増員や情報誌の発行は、来館者にとって有効であると思う。ポスターの掲示も集客に影響していると考ええる。

○イベントが地域密着型というだけでなく、花苗を地域の学生と一緒に植える、利用者のアンケートを運営に活かすなど、地域と一体化したホールを目指していることがうかがえる。

○施設の老朽化も見られるが、点検、修繕が細かく行われている。

### ③ 事業について

○事業収入は減少していますが、米子の文化の発展のために、多くの事業が行われてよかったと思います。

○多くの質の良い事業が実施されていると感じられた。映画や音楽などを中心に、米子の文化向上に資するものである。鑑賞事業、参加事業、教育普及事業、いずれも貴重な取り組みであると感じた。特に劇団四季によるミュージカル「はだかの王様」は、市内小学校6年生対象のイベントとして、今後も引き続き継承が望まれるものと感じた。また、今年度も参加型事業としての「第61回米子市音楽祭」は延べ2,802名の多くの入場、参加者数で、貴重なイベントであると強く思った。また、参加者としては多くないが、夏休み子どもたちの参加事業としての「米子市文化ホールの舞台裏をのぞいてみよう！」は、教育的意義のある取り組みだと感じた。また、「食と農のフェスタ in せいぶ」との連携で、「ネギ来ステージ」や「ネギ来スイーツ通り」はユニークな命名も相まって、楽しい催しであった。いずれも、米子駅前周辺の活性化にも寄与できたことは、大変有意義なことと感じられた。

○身近に感じることでできる事業展開が行われている。芸術文化の発信はもとより、市民主体のイベントづくりや、若年層の活躍を促進する事業を期待したい。

○地域密着型の事業は文化ホールの特徴として継続いただきたい。駅に近いことや、目的に応じた活用がしやすいホールや会議室を備えた施設であることを活かした利用促進を期待する。

○イベント情報誌を発行し利用促進事業に努めたことや、米子市出身のアーティストを招くなど、事業内容を工夫したことが、利用者の増加につながっているものと思われる。

○人通りの多い場所なので、多目的広場の花の植栽やイルミネーションなど、目をひく事業を、市民との交流として活用できていることが評価できる。

【今後の業務改善方策等の特記事項】

**【施設所管課】**

利用者が使用しやすい中規模ホールで立地条件も良いことから、稼働率の高い施設であり、今後も引き続き利用者が安心して使用できるよう、適切な施設管理を継続していただきたい。自主事業については、引き続き幅広い市民のニーズを捉えながら内容を精査し、本市の芸術文化の振興に資するものとなるよう努めてほしい。

**【第三者評価】**

○未だ収束の見えないコロナウイルスが広がる社会の中であっても、適切な対応、対策により、多くに事業が展開されることを期待いたします。

○米子駅前という好立地、イオンと駐車場を共有している利便性、オープンスペースを有するなど、その特性を活かした事業等を行っていただきたい。

○ビッグシップとイベントが重なった場合、大渋滞となる。主催者側が早めの運転手への連絡(プラカード等による周知など)ができるといいかもしれない。(運転手は別の駐車場を探すことができる)

○今年度新型コロナウイルス感染症対応のため、教職員の研修会等も学校ではなく、広いスペースで開催する必要が生じた。そういった場合、使用料の減免があるとありがたい。

## 令和元年度下期「米子市文化ホール」モニタリング評価表〔令和2年8月〕

施設名	米子市文化ホール	
施設所管課	経済部文化観光局文化振興課	
指定管理者名	団体名	(一財)米子市文化財団
	所在地	米子市末広町293番地
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日	
選定方法	—公募・非公募	
施設の設置目的	米子市文化ホールは中規模ホールをという市民の声を元に市政60周年記念事業として平成3年に建設され、芸術文化の振興及び市民福祉の増進を図ることを目的としている。	
主な実施事業	鑑賞事業(優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供) 年間3回程度 参加型事業(多数の市民が参加できる芸術文化の発表の機会提供) 年間3回程度 教育普及事業(芸術文化に関する普及活動、情報提供) 年間3回程度	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
<b>I 履行の確認(60点)</b>			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1)管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がなされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	資料確認・現地確認 引き続き、スムーズな接客を行うため受付案内係を1名増員している。
(2)職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認 適宜研修が実施されている。
(3)利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	A	資料確認・現地確認 テレビ・ラジオ等メディアを使つての広報の他、3館のイベント情報誌 Feel をフルカラーで発行する等、わかりやすい情報提供が行われている。
2 利用者に関する業務			
(1)利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか ※1	A	資料確認 利用者数は前年を上回る高い水準であった。
(2)利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認・現地確認 自主事業についてはアンケート用紙が配布され、要望等の実現策を検討していた。
3 保守点検及び清掃等の業務			
(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認 適切に行なわれている。
(2)清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認 適切に行なわれている。
(3)保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認 適切に行なわれている
(4)修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認・聞き取り確認 職員が自前で行うなど適切に行なわれている。

4	自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	B	資料確認・現地確認 事業計画書に沿った自主事業が適切におこなわれている。
5	情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	資料確認 適切に行なわれている。
6	管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	A	資料確認・現地確認 老朽化した施設、設備の不具合への迅速な対応や自主事業の充実等により、多くの市民が安心して利用できる環境を整えている。
<b>II サービスの質の評価（25点）</b>				
1	利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	資料確認 自主事業の際は、アンケートを配布、集計され、利用者の回答内容は概ね良好であった。
2	維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	資料確認・聞き取り確認 引き続き施設周辺、歩道等のゴミ拾いや除草・剪定を行うとともに、寄贈を受けた花苗を学生とともに多目的広場のプランターに植えるなど周囲の環境整備に努めている。
3	運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	現地確認・聞き取り確認 利用者に対する対応について適切に行なわれている。
4	自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	A	資料確認・現地確認 米子市音楽祭など、地元密着型のイベントを開催。中心市街地のにぎわいを創出することができ、地域の文化振興に寄与する内容であった。
5	施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	資料確認・現地確認 ホールだけでなく、イベントホール、多目的広場等を活用した多様な事業を行い、芸術文化の振興及び市民福祉の増進を図るといった設置目的に即した管理内容であった。
<b>III サービスの安定性の評価（15点）</b>				
1	事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか ※2	B	資料確認 妥当である
2	経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※3	B	資料確認 妥当である
3	団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	B	資料確認 妥当である

<p>【総評（所管課評価）】</p> <p>様々な広報活動により情報発信を行い事業周知に努め、利用者数が昨年を上回る高い水準であったことは評価できる。</p> <p>多くの自主事業が円滑に行われており、特に米子市音楽祭は60回記念としてメモリアルコンサートを開催し、米子市出身のピアニストをゲストに招き米子市近郊で音楽活動を行っているアーティストの共演機会を作るなど、音楽を通じて地域文化の向上に努めている点も評価できる。</p> <p>また、年々老朽化していく施設、設備の巡回点検を強化し、不具合に迅速に対処するなど、施設管理に対する取組も評価できる。</p>	<p>合計点 (70) 点/ (100) 点 ×100= (70)</p> <p>平均点 (3.5) 点</p>
---	--

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A（優良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）

B（良好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は、評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔平成31年4～令和元年3月〕 A	前年度〔平成30年4～平成31年3月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	312	313	△1、99.68%	
施設利用者数	131,577	140,994	△9,417、93.32%	
施設稼働率	100%	100%	0、100.00%	
事業開催数	14	16	△2、87.50%	

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔平成31年4～令和2年3月〕 A	前年度〔平成30年4～平成31年3月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
利用料収入	21,635,444	20,304,442	1,331,002、106.55%	
指定管理料	65,777,000	64,830,000	947,000、101.46%	
事業収入	4,379,450	5,147,580	△768,130、85.07%	
補助金及び助成金	0	180,000	△180,000、-	
その他	166,896	167,221	325、99.80%	
合計	91,958,790	90,629,243	1,329,547、101.04%	

(2) 支出

項目	本年度〔平成31年4～令和2年3月〕 A	前年度〔平成30年4～平成31年3月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
人件費	36,158,909	37,182,079	△1,023,170、97.24%	
委託料	24,769,007	19,975,231	4,793,776、123.99%	
施設費	22,736,472	22,764,146	27,674、99.87%	
事業費	7,428,416	8,915,001	1,486,585、83.32%	
合計	91,092,804	88,836,457	2,256,347、102.53%	

※3 経営状況分析指標

項目	本年度〔平成31年4～令和2年3月〕 A	前年度〔平成30年4～平成31年3月〕 B	対比 A-B、A/B	備考
① 事業収支	865,986	1,792,786	△926,800、 - %	
② 利用料金比率	23.52%	22.40%	1.12%、 105.00%	
③ 人件費比率	39.32%	41.85%	△2.53%、 93.95%	
④ 外部委託費比率	27.19%	22.48%	4.71%、 120.95%	
⑤利用者当たり管理コスト	692	630	62、 109.84%	
⑥利用者当たり自治体負担コスト	499	459	40、 108.71%	

①事業収支：(収入－支出)

事業全体が黒字で施設の管理運営ができていのかどうか確認する。赤字の場合は、管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

②利用料金比率：(利用料金収入/収入)

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

③人件費比率：(人件費/支出)

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎていないか、又は費用がかかりすぎていないかを確認する。

④外部委託比率：(外部委託費合計/支出)

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

⑤利用者当たり管理コスト：(支出/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

⑥利用者当たり自治体負担コスト：(指定管理料/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

※4 団体等の経営状況(年度ごと下期に実施し、上期では行いません。)

項目	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	備考
①自己資本比率	57.7	51.0	55.1	44.9	62.8	
②流動比率	304.5	238.4	281.4	191.7	323.6	
③固定長期適合率	15.3	15.9	15.6	11.2	11.0	
④総資産経常利益率	-6.5	7.6	2.3	4.4	-0.5	
評価	(以上の指標を参考に評価する。)					

※貸借対照表と損益計算書を基に計算する。太枠内に今年度の数値を記載し、左側に過去4年分を記載する。

①自己資本比率

総資産(資産合計)に占める自己資本(純資産合計)の割合を示した指標。どれだけ借金に頼らず経営をしているかを示す。比率が高いほど借金(負債合計)に頼る割合が低く、経営が安定していることを示す。一般的には、70%以上なら理想企業、40%以上なら倒産しにくいとされている。

$$\text{自己資本比率 (\%)} = \frac{\text{自己資本}}{\text{総資産}} \times 100 \quad \text{【例】 } 800 \div 2,000 \times 100 = 40.0\%$$

②流動比率

団体の短期的な支払能力を示す指標。1年以内に現金化できる試算を「流動資産」、1年以内に支払を要する負債を「流動負債」といい、「すぐに準備できるお金」と「すぐに返さないといけないお金」のバランスを比較する。流動資産(すぐに準備できるお金)の方が多いほど、支払能力が高いことを示す。100%以上であれば問題ない。100%未満であれば資金繰りが苦しいとされる。

$$\text{流動比率 (\%)} = \frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100 \quad \text{【例】 } 1,100 \div 700 \times 100 = 157.1\%$$

③固定長期適合率

固定資産をどの程度、自己資本(純資産合計)と固定負債で賄っているかを示す指標。土地や建物など、この先1年以上換金できない、又は換金しない固定資産を返済義務のない自前の資金である自己資本(純資産合計)と長期で調達したお金(固定負債)でどれだけ賄えるかを見る。100%未満であれば問題ないが、100%以上の場合は固定資産の維持調達について流動負債にも依存していることを示すことから、資金繰りが苦しいと考えられるとされる。

固定長期適合率 (%) = 固定資産 ÷ (固定負債 + 自己資本) × 100 【例】 900 ÷ (500 + 800) × 100 = 69.2%

④総資本経常利益率

団体の総合的な収益力を示す指標。団体の総資産（資産合計）に対して、どれだけの経常利益を稼ぎ出しているかを示す。比率が高いほど資本を効率的に運用し、収益を上げている。

総資本経常利益率 = 経常利益 ÷ 総資産 × 100 【例】 200 ÷ 2,000 × 100 = 10.0%

■貸借対照表（例）

【資産の部】	【負債の部】
流動資産	流動負債
現金及び預金 400	買掛金 400
受取手形 500	短期借入金 300
有価証券 200	流動負債合計 700
流動資産合計 1,100	固定負債
固定資産	社債 300
建物及び構築物 200	退職給付引当金 200
土地 500	固定負債合計 500
投資有価証券 200	負債合計 1,200
固定資産合計 900	【純資産の部】
	資本金 600
	利益剰余金 200
	純資産合計 800
資産合計 2,000	負債純資産合計 2,000

■損益計算書（例）

売上高	3,000
売上原価	1,200
売上総利益	1,800
販売費及び一般管理費	1,200
広告	700
人件費	500
営業利益	600
営業外収益	200
受取利息	200
その他	0
営業外費用	600
支払利息	200
社債利息	0
経常利益	200
特別利益	100
外国為替	100
特別損失	50
固定資産売却損	50
税引前当期純利益	250
法人税・住民税等	50
当期純利益	200

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

貸館利用主催団体が違法活動しないようにとの申し入れに応え、巡回点検数を増やして対応。  
 ビックシブ前駐車場ゲートが開かないとの苦情を受け、現場に駆け付けゲートを開けるとともに交通整理をして対応。

6 利用者アンケートの結果

自主事業について概ね事業を支持する良好な結果であった。